

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和五年十二月度 入賞句一覽 投句数 千六百八句

特選

説田 祐子 選

クリスマスおおいそがしのサンタさん 大垣市 まつ村 そうま(小二)

クリスマスが近くなり、子供さんたちにとって「サンタさん」は、「プレゼント」という思いが強くなるのでしようね。今回の投句にも、そんな思いの句が見られました。

毎日の生活の中で、楽しみが持てることは、うれしいことです。

なべの中大根つくねおどってる 大垣市 矢野 斗真(小四)

寒くなり、この季節どこのお家でも夕食の時などに温かい鍋料理をされることもあ
るのではないのでしょうか。その鍋料理の中に、作者のお家ではきつといういろいろなもの
が入っていたのでしようね。「大根、つくね」が「おどっている」という見方、感じ
方がいいですね。読んだわたしたちも「ああそのとおりだ」と共感できます。温かい
ご家庭の様子も伝わってきます。

サンタさん私のお手紙とどくかな 大垣市 野村 水湊(小二)

小学校三年生の作者は、「サンタさん」にお手紙を書いたのですね。実際には、サ
ンタさんがお手紙を読むことはできませんが、サンタさんに対する思いの温かさが伝
わってきます。どんなお手紙を書いたのか、読みたい気がします。

秀逸

おちばをねたくさんあつめてジュータンに 大垣市 宗宮 ひより(小四)

ゆうひがねきれいにしずむ秋の空 大垣市 高木 としき(小四)

どんぐりがころころりおちていく 大垣市 伊藤 里依香(小四)

北風が寒い冬を連れてくる 大垣市 野崎 友里(小四)

うまおいがなんかいとぶかかぞえるよ 大垣市 はやし だいち(小二)

ゆきだるまにんじんさしてうごきだす 大垣市 蓮見 凜(小二)

げんかんでだれかをまつてる雪だるま 大垣市 奥田 七瀬(小六)

ゆきだるまバケツを残して消えていく 大垣市 棚橋 芽久(小五)

せつぶんのおにのやくめはお父さん 大垣市 山田 桃璃(小五)

秋の鮎ひつしにおよぐ川上り 大垣市 渡邊 綾逢(小五)

入選

サンタさんぶじにくることいのつてる

大垣市

浅野 明華（小六）

秋の朝つめたい風で目がさめる

大垣市

米山 莉央（小六）

出られない祖父母の家のこたつから

大垣市

川瀬 依織（小六）

雪だるま知らないうちに動きそう

大垣市

山田 英輝（小五）

冬の川つめたくないのかもたちは

大垣市

山田 桔平（小二）

サンタさんはやくきてよとねがいかく

大垣市

中川 翔太（小二）

いそがしいマフラー探して冬の朝

大垣市

藤田 彩花（小五）

冬滝や冷たくキラキラ流れてく

大垣市

大橋 煌牙（小六）

秋の夜流れ星にねがいごと

大垣市

堀 稜成（小五）

雪化粧白いじゆうたんあつくなる

大垣市

牛田 千絢（小五）

持久走つかれてはいた息白し

大垣市

竹村 奏人（小六）

冬林檎くれた友と電話越し

加茂郡川辺町

幸村 心優（中二）

虫たちはみんなとうみん森静か

大垣市

栗川 颯太（小六）

冬桜学校帰りのおでむかえ

大垣市

近藤 夏帆（小五）

冬の空光りかがやくオリオン座

大垣市

櫻井 咲季（小六）

金木犀そばを通れば香りくる

大垣市

白石 瑚々海（小六）

帰り道紅葉色のカーペット

加茂郡川辺町

有本 樹奈（中二）

玄関の外に広がる霜柱

加茂郡川辺町

肥田 航青（中二）

外に出て風があやつるかれすすき

大垣市

横居 寛大（小六）

木枯らしが真つ赤になったほおを刺す

加茂郡川辺町

小田 憩（中三）

選者吟

それぞれの足跡残し年暮れる

祐子



小中学生の部